

第 55 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミ	チーム名	小山ゼミ B チーム
タイトル	商店街で商業集積が有効に作用する条件		
テーマ群	e)産業・企業		
メンバー	白川優貴、田中大奨、山中健輔、長井洸衛、山崎健申、片山敬介		
研究計画内容	【研究背景】 商店街の中で、同じようなお店が隣接しているのを見かける。一見、利益が分散されて、売り上げが落ちるのではと考えるが、長年続いているお店もある。このことから近くにお店を構えるのにはいくつかの要因があるのではないかと考えた。そのため研究するに至った。店舗同士がもたらす効果はどのようなものなのか。また、それはどう影響するのか。商店街にはどのような魅力があるのか。これらの疑問を解決するのが本研究のテーマである。 【研究内容】 1, 現状分析：商店街の場所、その中にある業種、規模などを収集し、その傾向と問題点を特定する。 2, 比較分析：商店街ごとの比較を通じて、各商店街の特徴的なメリット・デメリットを明確にする。 3, ターゲット分析：商店街に出店することで、どのような効果を期待しているのかを把握し、効果は出ているのか特定する。 【期待される効果】 来客数の増加：現状とターゲット分析に基づいて、消費者の関心を高めることで、来客数の増加が見込まれる。 売り上げの向上：来客の増加により、売り上げ向上につながる。 知名度の増加：その商店街ならではの特色や魅力を発信することで、他店舗との差別化ができ、知名度の増加につながる。 【参考文献】 • 商業学および都市・地域社会学における商店街研究の動向(閲覧日 2025/10/7)https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/105049/14imai.pdf • 集積の利益と地域経済－企業活動に関する最適空間構造のシミュレーション分析－(閲覧日 2025/10/7)https://cir.nii.ac.jp/crid/1010282257465320962?lang=en • 地方都市の商業集積を対象にした多様性評価モデルの追試研究(閲覧日 2025/10/7)http://repository.seinangu.ac.jp/bitstream/handle/123456789/2402/co-v69n3_4-p83-104-mat.pdf?sequence=1		